東大英語（配点：120点）

合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科一類	90	難しいという声もあるが普通だったと思う。特に何も驚くような変化もなし。	実数がキツかったのでほぼ最終段落のことを書いた。	記号は簡単だったが、やはり並べかえは難しい。結局諦めた。	いつも通り、賛成・反対両方の意見を書くと字数が稼げる。	いつも通り。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			放送はクリアだったが、(B)の男性の片方がものすごくゴモゴモ話していた。	時間切れになるまで、最後に粘った。最後の2つは間に合わずeを選択。	最も取り組みやすい4Bを最初に解くのはやはり正解。	並べかえはキツい。思いつくか否かだから、思いつかなければすぐに捨てる。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科一類	90	東大英語は時間配分次第で格段に安定する。自分は5→2→3と解いていたが、英作をトップにもってくると5でも安定するし、下書き(リスニング)も余裕ができるようになった！！	要素を3個ほどに絞って、「主張」を中心に、論旨を外さないように書く！	一番得意なパターンで、受かったと思えた。並べ替えは最後にゆっくりするべし。	英作文は得意で、東大英語の中でも比較的時間にアドバンテージを作ることができるので、ここでスタートダッシュをする予定通りに取り組んだ。	
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			リスニングはとても得意で、満点を狙っていたので大事だった。5択になっていて処理量がハンパじゃないので、7分程下読みに使った。	文法力は皆無だったので一番自信がなかった。4(B)で取れればいいと切り替えて早めに切り上げた。	3行ほど下線部があったので(各小問)、4(A)を早めに切り上げていたことが功を奏し、焦ることなく丁寧に訳せたと思う。(結構多めだった。)	小説ならかなり得点できる自信があったので、英作で作った余裕をもって落ち着いて確実に解いた。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科一類	75	英作でかなり失敗したので、模試よりも得点は下がったと感じた。日頃の演習で負担(本番よりも悪い環境で演習)をかけておくと本番で焦らずにすむ。	論旨は汲み取りやすいが字数制限がきつい。東大で重視される結論部は必ず書くようにした。	日頃「根拠を持って解答する」練習をしていたので、迷いなく選べた。	正直何を書けばよいのかわからずかなり焦った。文法ミスだけはないよう確認した。	京大っぽさがあって例年よりやりづらかった。他大学の問題もやっておけばよかったなぁと後悔。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			多少音がこもっていたが、家では1.3倍速+雑音あり+小音で演習していたので動揺なし。	去年より難易度が下がっていたが、最後に解くと少し焦る。	全体的に訳しやすかったが、(ア)の一部、構造がわからないところがあった。深く考えすぎず次の問題へ。	読み取りやすく、記号問題も解きやすかった。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科一類	65	読解力が不十分で正確性に欠ける思考が散見された。	文全体を読み、各段落のトピックを把握してまとめた。	文を読んで空所の前後に注意しながら答えた。	想起しやすいテーマだが、自分の知識で書ける英語は思いつきにくかった。	文構造を決めてから手早く書いた。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			全体の内容はよくわからなかったが、部分的に内容を把握して解答した。	文の内容がわからず、なんとなくで解いた。	下線部の前後を読み、よりわかりやすい日本語にした。	前半の内容がわからなかったが後半はわかりやすかった。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科二類	90	得意教科の割に失点が多いと思われる。	分かりやすい文章だった。	飛ばしながら読もうとしたが、余計に手間どったと思う。	説得力のある文章は書けなかった。	どこに難所が隠れているのか分からなかった。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			一つ目は一度目で聞き取れたため他の作業ができたが、二つ目、三つ目は二度聞いた。	もともと捨てるつもりだった。一つも勘が当たらず、残念だった。	大きな間違えはないと思う。読みやすかった。	記述問題が合っていないかもしれない。それらしく書いた。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科二類	85	数学で失敗した後だったので一点でも多くとかなり集中していた。1(B)と2(A)で失敗したが、できる限りのことはやれたと思う。	字数制限が厳しい。優先順位を決めて勇気をもって内容を削って7割を狙った。	解いているうちは結構良い感じだと思ったけど、結果は残念。	内容が思い浮かばず、二つの事項を列挙してしまい内容が薄くなってしまった。慣れていればいいんだろうけど、慣れない方法をとると苦戦する。	「まゆつばもの」は無難に処理できたと思う。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			練習で聞いていたよりネイティブっぽい会話であせったけど速さは普通。冷静に内容を整理していけば何とかなった。	一度とりかかってみたけどわからなかったから4(B)に移った。最後に戻ってきたらいくつか分かったから切り替えは大切。	ちょっと構造や単語が難しいけど時間が厳しいから仕方なく妥協。	内容は読みやすいし展開もはっきりしていた。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科二類	65	全体的に難しかった。大問2・5は手応えなし。友達も同じことを言っていたので、少し安心した。よく、解く順番を変えるのが良いと言われるが、別に大問順に解いても構わないと思う。私の場合は解いていない問題を残して先に進むのが何となく嫌だったので、順に解いた	要素の抽出はしやすかったが、字数が70～80字と少なくまとめるのに苦労した。このまとめる作業でライバルと差がつくと思う。日頃の練習が大事。	(イ)(1)の答えを1つに絞ってから(2),(3)と解くのは危険。最初しか読んでいない為外しやすく、外すと後の問題に影響する。まずある程度読んでから空欄補充に移ることを勧める。	テーマ自体が難解で非常に書きづらかった。現代文で同じようなテーマが論じられていたことがあり、それが訳に立った。現代文の学習の重要性を思い知った。	意訳を多用しないと訳せない問題は新傾向だと思う。京大に近づいた感じか。過去問だけでは対応できないという点で恐ろしい問題だった。来年もこの傾向が続くと思う。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			年を経るごとに難しくなっている気がする。2000年代前半は満点も取れたのに今年は8問しか合っていない。四技能が叫ばれる現状を鑑みると来年はもっと難しくなるかもしれない。	今年度のオアシス。ここだけ簡単だったと思う。基本的なことが多く問われていたので満点を狙いたい。よく4(A)を捨てる人がいるが今年でそれをするのはもったいない。	文構造自体はそこまで難しくはなかったが、分量が多く、(2)のような付加説明も求められたので時間は多くかかった。分量が多くても焦ってはいけない。	一回読んだだけではよく分からなかったが二回読む時間もなかったので、納得のいく答案が書けなかった。悔しい。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科三類	97	各設問で英文の読み方を変える必要がある。熟読速読の切り替えが大切。リスニングは得点源となるので、事前に設問を読み込む。	段落を読み終える度にその段落の役割を考える。	全ての部分を丁寧に読む必要はない。1(A)と同様段落のつながりを意識するのが大切。	リスニングの合間に構想を練る。スペルミスの確認を怠らない。	自分の使える表現に落とし込む。日本語を別の日本語に捉え直して英語にする。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			選択肢を読み込めばリスニング開始前に論理展開を予測できる。	比較的易問だったが固執し過ぎず要領良く進めれば良い。時間が余ればもう一度考える。	ポイントが最低でも二つあることを念頭に置きつつ日本語に訳していく。	穴埋めは後回しにしない。記述問題もおよその解答を考えつつ最後まで読み答案作成

東大英語（配点：120点）

合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科三類	95	リスニングを含む前半は練習どおり解けたが、小説が解きにくかったので1(B)に思ったより時間がとれず焦った。やはり全体を通して時間管理をすることが大切だと思った。	書くべきポイントはすぐ分かったが字数が足りなかった。あいまいに書いた。	途中で分からなくなり、時間もなかったのであきらめそうになったが、何とか完答。	テーマが難しいと感じた。内容より文法面で落とさないよう気を付けた。	お堅い文章だったので、どこまで意訳していいのか迷った。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			思った以上に音が悪く、とても聞きづらかった。	残り5分で解いたので運まかせ。1つだけ確実に分かったがその他は勘だった。	書きやすかった。指示内容をどこまで書くか迷った。	記号問題は解きやすかったが、記述がとても難しく感じた。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
文科三類	80	最初の一問、最初の一文さえ読めればすっと英語の世界に入っていける。焦らずじっくり読む。	例年より読み易かったが少ない字数にまとめるのが難しかった。	難しくはなかった。(イ)(5)だけ迷った。	最初少し面食らったが簡単な表現を心掛けて書き上げた。	例年より難しかったがしっかり訳した。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			(B)はなまりにいじめられた。会話も速くて聞き取りづらかった。	自信は半分くらい。悩み過ぎず適当にとばした。	細かいポイントで失点しないよう気をつけた。	比較的読み易かった。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科一類	85	割といつも通りなセットだったので、考えていた時間配分通りにできた。世に出回っているリスニング強化とはかなり違うリスニングで、そこで頭が真っ白になりかけた。	字数制限の割に入れたくなる内容が多く、いつも以上に取捨選択に悩んだ。	残り時間が少ない中、焦りから若干飛ばし気味に読んだ。	深いことを書いてやろうと一瞬意気込んだが、安全策で具体例を入れる方針に変えた。	まゆつばの意味が即座にでてこなかったが文脈とかすかな記憶からunreliableとした。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			模試や教材と異なり、実際にありそうなモゴモゴして暗い雰囲気のしゃべりで聞き取りにくかった。	まともに文章を読んでも間違うところは間違うため、下線部だけ読んでなるべく時短できるようにした。	ふつうの英文和訳で安心した。	並べ替えと下線部の説明で悩んだが思い切って適当に書いた。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科一類	80	記述式で差がつくセットだと感じたので、記述をしっかりさせた。並べ替えが難しかった。	分量が多い割に字数がきつかったので、大胆にカットする作戦で書いた。	前後の文脈からでは決めきれないものがあったので、とにかく先を読むことを意識した。	理由が書きにくく、少し悩んで時間がかかった。ここ3年はよく復習すべき。	どの構文が最も書きやすいかすぐ浮かぶような内容だったので、簡単だった。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			大教室だったため、はじめききとりにくかった。	よく分からないことが多く、時間も食うので早めに切り上げた。	単語を文脈に上手に合わせて訳すことに気を付けつつ、素早く書いた。	記述式が書きにくかったので、ポイントとなりそうなところを押さえて部分点を狙った。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科一類	77	比較的安定した点が出る科目なので、油断せずに点を取ろう、という気持ちで受けた。	各段落の要点をまとめる意識で解いた。	並べ替えが難しく、少し時間がかかってしまった。	昨年より書くことが思いつきやすくて助かった。	日本語の抽象度が高く、言い換えを考えるのに苦労した。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			大教室だったが、思ったよりは聞こえた。ただ、読むのが速く感じて大変だった。	この形式は捨てると決めていたので、速攻で捨てた。2/5取れたのでラッキー。	傍線が長かったので、訳しモレがないように注意して解いた。	だいたいの内容がつかめたのでそれなりにできた。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科一類	72	過去問演習の時点では分量が多くて埋めるのがやっとな感じで、本番も覚悟していた通り試験時間ギリギリまでかかりました。それでも焦らなかったので正答率は高かったです。	1Aは文章自体はそこまで難しくはなかったのですが、どの部分を要約に盛り込むかですごく悩みました。	1Bは最後に回したため深く読むことができず、設問部分の前後を見ただけになってしまいました。	今年の英作文は和文英訳、自由英作文共に難易度が高かったように思います。どちらも英語力のみならず日本語力が必要な問題だなと解きながら感じていました。	
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			今年のリスニング問題は題材がわかりやすいもので、さらに聞き取りやすかったため得点源になりました。	4Aの文法問題は文章が少し難しく、かつ問われている文法事項が細かいところだったので試験中に正答を見つけられた問題は1問しかありませんでした。	4Bの和訳問題の文章は内容がわかりやすく、大問3と合わせて得点源となる問題でした。	文章は小説調であり、内容はスラスラ入ってきました。しかし並び替え問題や穴埋め問題が捻られており、時間をかけすぎてしまいました。時間配分はしっかりするべきでした。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科一類	70	英語は継続してやるのが本当に大事だと痛感した。ただ自分は英語はなぜかできるので、そこまで悪くないだろうと思った。	ポイントがわかりにくく、まとめるのに苦労した。ちょっとポイントがズレたかも。	(ア)簡単だった。(イ)文章→選択肢の順で調べた。論理展開が明確でわかりやすかった。	自分では論理的に書いたつもりだったが、自分の論理が最後まで自分で納得できなかった。	文の言い換えを意識した。形容詞/副詞で言うのを心掛けた。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			はっきり言って難しかった。試験場では音がボワボワして戸惑った。イヤホンとは感覚が異なるのでイヤホンでの演習は避けた方がいいかも。	例年に比べて簡単だったが合う自信はなかった。	(ア)やや難。3行目がよく分からなかった。(イ)(ウ)いけたと思う。	途中で力尽きた。結局何の話かよく分からなかった。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科一類	70	30分前の着席のタイミングで眠くなってきて非常に不安だったが、いざ解きはじめると眠気もとんだ。	字数が厳しく、文の練り直しに時間がかかった。	空所補充は時間をかければ確実に取れるようになるので、捨てるのはよくない。	現代文の授業で聞いた内容を思い出しながら書いた。	「まゆつばもの」なんて日本語でも意味がわからない。京都大学っぽさを感じた。あまり時間をかけずにやった。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			理学部1号館の新しい建物で音は聞きやすかったが、内容はあまり理解できなかった。	時間はかけられないので雰囲気で選んでいく。最後の2つは簡単にわかった。	本当は10分で終わらせる予定だったが、最初に解いて焦ったこともあり時間がかかった。	小説は苦手だが割と読めた。それでも問題は難しい。

東大英語（配点：120点）

合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科二類	80	いつも通りが一番。完璧を求めず、適度に適当に書いて次に進んだ。何も考えないこと。	部分点を取りに無理に詰め込まず、確実に要素となると思われるところだけ入れて時間をかけない。	(1)が出てきた時に選択肢を全部読んでおく。文は全部読んで、基本は直感的に選ぶ。	具体例で対比させて字数を稼いだ。	「まゆつば」の意味がわからなかったが、深く考えても無駄だと思い、適当ににごした。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			(B)の時に集中力が切れてしまって急に緊張し出し、ちゃんと聞き取れなかった。	最初から全部読んでちゃんと文脈を理解する。文法的な間違いを段落の序盤で見つけた時は次にいく。	(イ)の指示内容が難しかった。訳脱が多いので注意した。	(　)が出てくる度に問題を解くようにして、絶対の自信がない時はとりあえずとばす。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科二類	75	時間が厳しいので、速く読めると楽だと思う。	焦って急いで突入。普通であったので少し落ち着く。	statisticsの意味がとんで時間をくった。簡単ののに…。	難しすぎて呆然。リスニングの下読みもあるので、としかく急ぐ。	ちょっと言い換えがいるが、いつも通り。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			音は意外とよい。発音は変？そこまで気にせず普通に解ける(工学部6)	時間が残っていなかったので急ぐ。	the same poolをどこまで書くか悩ましかった。	小説かと思って解きはじめたが全くわからない。焦る。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科二類	70	得意科目だが失敗気味。(A)で時間をとられ、他に少なからず影響した。今年は形式の変化はなかったが、ある年も多い。これは「小手先のテクニックではなく、真の英語力を身につけてこい」という東大からのメッセージだと思う。	(文字数)÷20をして、だいたいいくつの事柄が言えるかを見極めるとよい。また、それぞれの20字の中で、キーワードが何か考えると得点につながる。	頭の中で訳す必要もなければ、全部読む必要もない。空欄前後を読み、「結局は何の話か」を掴む。	予想しない問いが出ると心得る。それを楽しむくらいの気持ちで。添削量が一番反映される大問だと思う。	ここ数年続いている和文英訳は、今後定着する可能性が高い。定型文をたくさん覚えていると強い。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			予想通り聞き取りづらい。理由として、1. スピーカーが頭上にあった、2. 全体的にボソボソ、3. 息の切れ目がないことが挙げられる。	敬遠する人も多いが、対策すれば確実に半分は取れる。一番避けるべきは、ここで慌てて他の大問に影響が出ること。	文構造を見誤ると、点がふっ飛ぶので慎重に。イディオム等はノートにまとめて覚えるとよい。	得点が伸び悩んでいる人は、大抵イディオムの知識が足りないと思う。ノートを作り、一度やったものは必ず覚えるように。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科二類	69	自分は本番リスニングで失敗したが、英作文、リスニング、和訳は比較的安定するので、そこで取れるようにしたい。	大意はつかめたが、それをまとめるのに苦労した。	(ア)の並び替えがわからず、結構時間をくった。とばすべきだったと反省。	書く内容が思いつかず、内容面の減点覚悟でとりあえず書いた。	わからない表現は、全部意訳で押し切った。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			最初緊張からか、聞き取れるが内容が頭に入ってこない状態になった。	時間がなかったので、最後の方は適当に埋めた。	from…to～に後から気づいて、かなり時間を使った。	記述はわからないなりに書いたら、少しだけ内容が合っていた。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科二類	60	もともと英語は苦手なのでとりあえずは埋めた。いろいろ的外れ(アドバイスも)かもしれない。	題意は読み取りやすかった。全文に目を通すこと。	読んでも意味がわからなかったから埋めただけ。見切りをつける時間を設定することも大事かも。	2種類とも構想を練って長く書けそうな方を選択。具体例を引きずり出した。	あくまでも忠実に訳す。
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			5分前に設問の内容に目を通す。聞き逃したら潔く諦めて、次に集中する。	明らかに正しいものを省いて、あとは勘。速さの追求のほうが重要。考えすぎはNG。	一応全文読み進めながらやるとうまくいくはず。	時間をかけてでも頑張る。
合格科類	得点	全体	大問1(A)	大問1(B)	大問2(A)	大問2(B)
理科三類	80	例年通り、高度な処理能力が試された。採点の厳しさは大手予備校とあまり変わらないようである。	要約は例年並み。文補充は満点だと思っていたが、二つ間違えてしまっていた。並び替えはセンター試験のおおよそ2倍の難易度であろう。		まゆつばものの意味がわからず、動揺してしまった結果、ここでかなり失点してしまったようである。	
			大問3	大問4(A)	大問4(B)	大問5
			リスニングは模試の時より聴きづらかった。模試より6点低い点数を取ってしまった。リスニングの情報を事前に知っておくべきだと思った。	文法問題は文脈も汲まなければならず、難易度は高い。	和訳は対策をすれば、高得点が狙える。	小説は例年とあまり変わらない難易度だった。他大ではほとんど出題されないため、特別な対策が必要である。